

科目番号	C 2 0 2 A						
科目名	森林情報論 2						
担当教員	矢倉 資喜			所属等	ひょうご森林林業協同組合連合会		
科目区分	計画・経済			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2 年			授業形態	講義・演習		
開講時期	4～6 月	7～9 月	10～12月	1～3 月	単位数	2	
授業時間数	1 5 コマ (3 0 単位時間)						
実務経験のある教員による授業科目				－	左の実務経験の内容		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				○	左の実務経験の内容	森林情報管理実務 10年以上	
実務経験を活かした授業内容	実際に手を動かすことで実務に直結するスキルを学生が習得できるよう、QGISを用いた実習中心の事業内容とする。						

目 的	GIS、ドローン等によって、各自が直面する問題解決を意図し、これまで学習した各種技術を振り返りつつ、より高度な知識と技術の習得を目指す。		
概 要	林業経営・森林施業の現場で既に定型業務となった空間情報技術を学習してきたのが「森林情報論」であるが、ここではそうした技術の応用力増強を意図し、各種技術の原理の理解と技術の習得を目指す。		
キーワード	G I S , ドローン、リモートセンシング、航空レーザー		
関連する科目	森林情報論、森林計測学、森林計測学実習、測量学、測量学実習、作業道作設理論、作業道作設実習		
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	－	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	出席20%、試験（実技）による評価80%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	ガイダンス	GIS習熟度の確認。GISを利用する意義を考える。
2	地図の作り方	プロジェクトファイル、GISデータ（ベクタ・ラスタ）、座標参照系を学び、既存データを活用して地図をつくる。
3	ベクターデータと属性	ベクタデータと属性の関連性を学ぶ。エクセルでの属性データの活用法を学ぶ。
4	地図情報の視覚化	色味の変更、ラベルの付与など、視覚的にわかりやすい地図をつくる。印刷方法を学ぶ。
5	新規ベクターデータの作成 1	新規にベクターデータをつくり、属性を付与する方法を学ぶ。
6	新規ベクターデータの作成 2	既存データ（エクセルデータ・GNSSデータ等）をベクター化する方法を学ぶ。
7	ジオリファレンス	紙図面に位置情報を付与しGISで利用する方法を学ぶ。
8	空間演算・データ結合	ベクターデータの重ね合わせにより情報を得るツールやデータを結合する方法を学ぶ。
9	ラスターデータをつくる1	兵庫県が公開するLiDARデータからDEMやDSMなどのラスターデータをつくる方法を学ぶ。
10	ラスターデータをつくる2	兵庫県が公開するLiDARデータからDEMやDSMなどのラスターデータをつくる方法を学ぶ。
11	DEM・DSMから各種主題図をつくる	陰影起伏図・傾斜区分図・樹高分布図などをつくる方法を学ぶ。
12	各種主題図から評価図をつくる	再分類、ラスタ計算機、ゾーン統計などのツールを利用し、求めに応じた評価図の作成方法を学ぶ。
13	DCMから樹頂点をつくる	DCM（DSM-DEM）から人工林の樹頂点を生成する方法を学ぶ。
14	樹頂点から材積量を試算する	樹頂点から任意のエリアの材積量を試算する方法を学ぶ。
15	試験	QGISの課題操作試験

テキスト	QGIS演習（本講義用に製作したテキスト）
参考書	
関連する資格	森林情報士2級
備 考	森林情報論 1 の履修者が受講。

担当： 井上

科目番号	C 2 0 3 B						
科目名	森林計画 実習						
担当教員	平野 修之			所属等	県立森林大学校 専任教員		
科目区分	計画・経済			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2 年			授業形態	実習		
開講時期	4～6 月	7～9 月	10～12月	1～3 月	単位数	1	
授業時間数	1 5 コマ (3 0 単位時間)						
実務経験のある教員による授業科目				○	左の実務経験の内容	森林施業計画の認定業務（5年以上）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				－	左の実務経験の内容	－	
実務経験を活かした授業内容	森林法第11条の規定に基づく森林施業計画（現森林経営計画）の認定に関する実務経験を活かし、EXCELを用いた森林経営計画作成等を通じて、実践的なスキルの修得を目指します。						

目 的	森林経営計画の作成等に必要な知識、技能の習得。		
概 要	間伐対象年齢級の林分と伐期を迎えた林分で森林調査を実施し、調査結果をもとに施業方針を立案する。		
キーワード	①森林調査 ②目標林型設定 ③施業方針作成のための知識（間伐率の決定方法等）④施業方針作成と現地検討		
関連する科目	森林計画、森林情報論、森林施業プラン作成実習		
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	－	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	課題90%、授業態度10%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	イントロダクション	森林経営計画の作成手順
2	事前調査	森林経営計画作成に必要な森林情報の収集
3	森林調査準備	デジタルコンパス等、測量機器操作の復習
4	森林調査	森林経営計画作成に必要な森林情報の収集
5	森林調査	現地林分調査と測量
6	森林調査	現地林分調査と測量
7	計画立案準備	林分調査結果のQ G I S 等への反映
8	計画立案準備	経営計画への反映案の検討
9	計画立案準備	森林経営計画の作成・年度別の施業の計画の立案
1 0	計画立案準備	森林経営計画案の作成
1 1	計画立案	森林経営計画案の作成
1 2	計画立案	森林経営計画案の作成
1 3	計画立案と意見交換	森林経営計画案の作成
1 4	計画立案と意見交換	立案した森林経営計画の発表
1 5	計画立案と意見交換	森林経営計画案に対する意見交換

テキスト	必要な資料を配付します。
参考書	森林経営計画ガイドブック、林業技術ハンドブック、ニューフォレストーズガイドなど
関連する資格	森林情報士2級
備 考	

科目番号	C 2 0 4 A							
科目名	森林施業プラン作成 1							
担当教員	檜崎 達也			所属等	FOREST MEDIA WORKS（株） 代表取締役			
	藤田 和則				北はりま森林組合 参事			
科目区分	計画・経済				人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2 年				授業形態	講義・演習		
開講時期	4～6 月	7～9 月	10～12月	1～3 月	単位数	2		
授業時間数	1 5 コマ (3 0 単位時間)							
実務経験のある教員による授業科目				○	左の実務経験の内容	地域森林監理士、 認定森林施業プランナー		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				－	左の実務経験の内容	－		
実務経験を活かした授業内容	林業事業体等への経営指導を行っている地域森林監理士や、森林組合で実際に活動している認定森林施業プランナーから、森林施業の集約化を推進するための実務を学ぶ。							

目 的	森林施業プランナーを目指すにあたり、施業の集約化を進めるために必要となる基本的な知識、技能を習得する。	
概 要	森林施業の集約化を推進する上での、森林総合監理士や森林施業プランナーの取り組み等について、実践的に学ぶ。	
キーワード	①森林施業集約化、②森林施業提案書、③森林施業プランナー、④森林総合監理士	
関連する科目	森林計画、森林情報論、森林施業プラン作成 2	
到達目標	－	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	課題80%、履修態度20%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	森林施業プランナーとは①	森林施業プランナーの職務と役割
2	森林施業プランナーとは②	森林施業プランナーの職務と役割
3	森林施業集約化団地	施業集約化団地の視察
4	森林施業集約化団地	施業集約化団地の視察
5	林業の仕事	林業の仕事とはなにか？どんな仕事をやりたいのか？
6	林業の仕事	林業の仕事とはなにか？どんな種類があるのか？
7	スマート林業	スマート林業とは何か？仕事は頑張らないといけないのか？
8	施業提案	施業提案：施業提案とはなにか？
9	施業提案	施業提案：森林資源量の把握方法
10	施業提案（作業コスト）	施業提案：作業コストの把握
11	施業提案（作業コスト）	施業提案：作業コストの把握
12	施業提案	施業提案：提案書の作成
13	施業提案	施業提案：提案書の作成
14	施業提案（コミュニケーション）	施業提案：森林所有者とのコミュニケーション
15	施業提案（コミュニケーション）	施業提案：森林所有者とのコミュニケーション

テキスト	別途指示
参考書	森林施業プランナーテキスト基礎編
関連する資格	森林施業プランナー、森林情報士 2 級
備 考	

担当： 谷口

科目番号	C 2 0 6 A						
科目名	森林政策						
担当教員	芳賀 大地		所属等	鳥取大学農学部生命環境農学科 助教			
	谷口 俊明			県立森林大学校長			
科目区分	経済・法律等			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年			授業形態	講義・演習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2	
授業時間数	15			コマ		(30 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目			○	左の実務経験の内容	県で森林林業の政策、施策立案に従事		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			○	左の実務経験の内容	国、県で林業政策、施策立案に従事		
実務経験を活かした授業内容	国、県で森林林業の政策、施策立案に携わった経験を活かし、森林林業の現状と課題、現在行われている最新の対策について学ぶとともに、グループ討論を通じて政策立案の過程を体験する。						

目 的	森林、林業政策の歴史と現状を学び、史学的見地をもって未来への課題に取り組む力を養う。	
概 要	身近な森林の成り立ちについて、どうして現在の姿になっているかを紐解きながら、現状の課題をとらえ、課題解決に向けてどうすればよいか、討論を交えながら授業を展開する。	
キーワード	①森林と地域社会 ②森林・林業の政策史 ③民有林と国有林 ④担い手の育成	
関連する科目	森林林業概論	
到達目標		森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	レポート50%、テスト30%、出席・態度20%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	持続可能な森林管理	持続可能な森林管理の意味、この概念が重視される背景
2	世界における森林と人との関わり	世界の森林変化の動向
3	戦後木材需要	戦後木材需要の動向
4	戦後木材供給	戦後木材供給の動向、需要の動向と合わせて理論的に説明
5	社会と森林政策1	20世紀までの森林政策動向
6	社会と森林政策2	近年の森林政策動向
7	森林所有と森林管理	所有形態毎の森林管理の動向
8	森林計画制度と規制と助成	森林計画制度と規制と助成について、現状と課題について
9	森林・林業の現在 1	国の林業施策、国有林の森林経営
10	森林・林業の現在 1	兵庫森林管理署の取組
11	森林・林業の現在 2	民有林の現状と取組（県の森林林業施策）
12	森林・林業の現在 2	民有林の現状と取組（県の森林林業施策）
13	まとめ	森林・林業白書によるまとめ
14	まとめ	森林・林業白書によるまとめ
15	テスト	森林・林業白書から出題

テキスト	講義の際に資料を配付する
参考書	・永田信（2015）林政学講義．東京大学出版会，viii，166頁． ・遠藤日雄（2012）現代森林政策学．改訂．日本林業調査会，340頁
関連する資格	森林情報士2級
備 考	

科目番号	C 2 0 7 A						
科目名	森林経営						
担当教員	谷口 俊明			所属等	県立森林大学校校長		
科目区分	経済・法律等			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年			授業形態	講義・演習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2	
授業時間数	15			コマ	(30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	—			左の実務経験の内容	—		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○			左の実務経験の内容	森林組合や林業事業体等で森林経営に従事		
実務経験を活かした授業内容	外部講師として森林組合の理事や林業事業体の経営者を招き、実務経験に基づいた講話を通じて、森林経営の実践や、これからの森林経営に求められることなどを探求する。						

目 的	持続可能な森林経営とは何かを学ぶ。		
概 要	森林経営の基礎となる事項について学ぶとともに、実際に林業経営を行っている森林組合や林業事業体等から現状と課題、対応策を学ぶ。		
キーワード	①持続可能な森林経営とは ②森林経営の実践 ③これからの森林経営		
関連する科目	森林政策		
到達目標		森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
		多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	テスト50%、出席・態度50%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	協同組合の取組	木材加工流通の現場、施設見学
2	協同組合の取組	川上と川下の連携、収益を生む視点を学ぶ(ニーズを踏まえた工夫)
3	企業の森林経営	所有林の概要、経営目標、施業体系、作業の実施方法
4	企業の森林経営	販売先、課題と対策、収益を生むための視点を学ぶ(多様性)
5	林家の森林経営	所有林の概要、経営目標、施業体系、作業の実施方法
6	林家の森林経営	販売先、課題と対策、収益を生むための視点を学ぶ(多様性)
7	川下と連携した森林経営	川上と川下の連携、収益を生む視点を学ぶ(ニーズを踏まえた工夫)
8	川下と連携した森林経営	川上と川下の連携、収益を生む視点を学ぶ(ニーズを踏まえた工夫)
9	森林経営の基礎	森林経営を取り巻く情勢、林業の特殊性、林業経営の指導原則
10	森林経営の基礎	近自然的林業、モニタリング・プロセスの持続的森林経営、森林認証
11	生産森林組合の森林経営	生産森林組合の森林経営
12	生産森林組合の森林経営	生産森林組合の森林経営
13	公社の森林経営	分収造林の森林経営
14	公社の森林経営	分収造林の森林経営
15	まとめ・テスト	ふりかえり・森林・林業白書からのテスト

テキスト	
参考書	
関連する資格	森林情報士 2 級
備 考	この講義では、森林、林業業界の第一線で活躍されている森林組合や林業事業体の代表者等を外部講師に招いて授業を行います。

科目番号	C 2 0 8 A									
科目名	森林会計学									
担当教員	青木 さやか				所属等	ひょうご森林林業協同組合連合会 会計主任兼管理課課長補佐				
	谷口 俊明					県立森林大学校校長				
	永峰 雅史					ひょうご森林林業協同組合連合会 参事兼管理課長				
科目区分	計画・経済					人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献	
対象学年	2 年					授業形態	講義・演習			
開講時期	4～6 月	7～9 月	10～12月	1～3 月	単位数	2				
授業時間数	1 5 コマ (3 0 単位時間)									
実務経験のある教員による授業科目					○	左の実務経験の内容	森林組合監査士			
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無					－	左の実務経験の内容	－			
実務経験を活かした授業内容	森林組合監査士として、森林組合法の規定に基づく森林組合への監査指導を毎年実施している講師から、森林組合会計を中心に企業会計の基礎を学ぶ。									

目 的	企業会計の基礎となっている会計制度の基礎を学ぶ。	
概 要	森林組合や林業事業体等で実社会で、経営・採算性等の実状を計数的に捉える手法について学ぶ。	
キーワード	①簿記の基礎 ②貸借対照表と損益計算書 ③取引と勘定 ④仕訳と転記 ⑤試算表と精算表 ⑥決算と財務諸表	
関連する科目		
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	試験80%、学習態度10%、課題10%（試験50点未満は全体評価に関わらず再試験の対象とします）	

授業計画	テーマ	講義内容
1	会計の基礎	会計と簿記の関係、企業会計ほか
2	簿記の基礎	簿記の意味、簿記の前提条件ほか
3	取引と勘定	取引・勘定の意味、取引の分解と勘定記入
4	仕訳と転記	仕訳と転記
5	仕訳帳と総勘定元帳	仕訳帳の記入方法、総勘定元帳の記入方法
6	試算表・精算表	試算表の種類・精算表の作成方法
7	決算	決算の意味・手続き、決算の報告
8	財務諸表の作成	財務諸表の作成、総合実習
9	資産・負債・資本と貸借対照表	貸借対照表の概要、資産・負債・資本の増減と純損益の計算
10	収益・費用と損益計算書	損益計算書、純損益の発生原因、収益・費用と純損益の計算
11	貸借体表面・損益計算書	財務諸表の読み方・分析
12	森林・林業と会計	山林所得、圧縮記帳、立木の評価、原価管理ほか
13	森林・林業と会計	特に森林組合における取引・勘定・仕訳
14	森林・林業と会計	特に森林組合における決算事務等
15	試験	

テキスト	資料配付ほか
参考書	簿記一年生（日本能率協会マネジメントセンター 2010）、森林施業プランナーテキスト（森林施業プランナー協会 2016）
関連する資格	森林情報士2級
備 考	電卓